



整備イメージパース

社総合庁舎・加東バスターミナル周辺 にぎわい創出構想(案)



令和6年3月

社総合庁舎・加東バスターミナル周辺にぎわい創出検討協議会

目 次

I	社総合庁舎・加東バスターミナル周辺にぎわい創出検討協議会	1
1	目的	1
2	協議会の概要	1
3	協議会委員	1
4	協議会の開催	2
II	主な周辺施設の概要	3
III	協議会開催概要	5
IV	周辺地域の現状と課題	8
V	にぎわい創出のためのアイデア	10
VI	にぎわいの花を咲かせる	13
VII	社総合庁舎・加東バスターミナル周辺にぎわい創出構想模型	14
VIII	取り組みを実施する時期	16
IX	取り組みを未来に残すために	16

I 社総合庁舎・加東バスターミナル周辺にぎわい創出検討協議会

1 目的

本会は、社総合庁舎・加東バスターミナル周辺の地域において、下川の親水空間の創出などによる地域活性化構想を策定し、もって地域のにぎわいの創出に資することを目的とする。

2 協議会の概要

加東市が地域活性化の新たな拠点として位置づける加東市社のバスターミナルが、令和4年10月1日に開業した。バスターミナル、にぎわい交流施設 halK と「やしろショッピングパーク Bio (イオン社店等)」の間を流れる下川は、二面張りのブロック積み護岸であり、河道内には葦等の植生が繁茂し、河畔の植樹等は管理されているが、ともに鬱蒼とした状態の期間が長い状況にあり、必ずしもよい環境とは言えない状態にある。そこで、親水性や景観向上のための下川の整備を行うとともに、県社総合庁舎を含めた周辺施設の管理者等が、利用が予想される住民、学生などの意見を参考にして、実現可能な構想を立案し、それぞれの管理者ができることを行うことで、下川の水辺空間を活かした地域間交流の機会や場を創出して、地域活性化に寄与する取り組みを進めるための構想策定を協議会形式で行った。

3 協議会委員

表-1 社総合庁舎・加東バスターミナル周辺にぎわい創出検討協議会委員名簿

区分	氏名	所属等
有識者等 (座長)	余部 衛	兵庫県立やしろの森公園協会事務局 事務局長
地元代表	神崎 仁	社5区 区長
利用者等	山本 いずみ	加東市連合婦人会 理事
	島村 有香	一般社団法人 CYP 放課後等デイサービス ふらっふ 代表
	藤井 宣博	特定非営利活動法人 加東市国際交流協会理事
活動団体等	藤原 知子	まちの拠点づくりコンソーシアム
隣接商業関係等事業者	山内 政光	やしろ商業開発株式会社 取締役管理部長
	藁粥 一彰	イオンリテール株式会社 イオン社店 店長
	吉田 栄次郎	ジオプランナーズ株式会社 (にぎわい交流施設「halK」指定管理者)
観光関係事業者	阿江 孝仁	一般社団法人 加東市観光協会 事務局長
行政	角谷 明臣	兵庫県北播磨県民局加東土木事務所 河川砂防課長 (河川管理者)
	野崎 敏	加東市 技監
合計	12名	

(順不同・敬称略)

4 協議会の開催

協議会は令和5年9月11日～令和6年3月22日にかけて計6回開催し、主にワークショップ形式により協議を進めた。事務局は兵庫県北播磨県民局加東土木事務所及び加東市をもって充てた。

II 主な周辺施設の概要

1 社総合庁舎

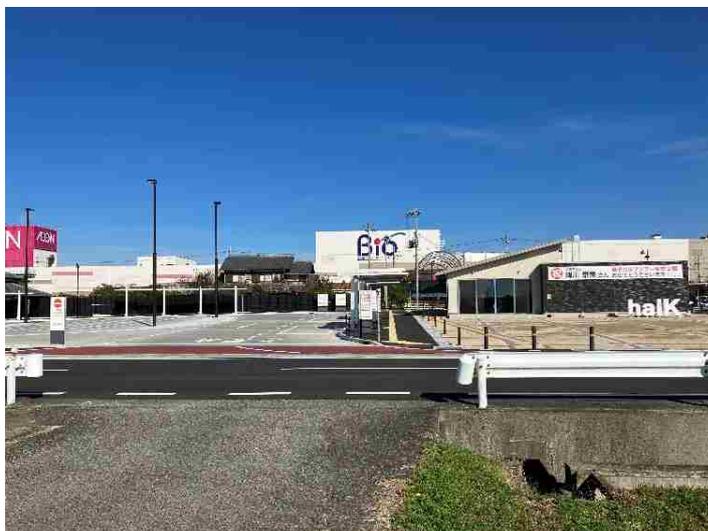
県に10ある県民局・県民センターのひとつである北播磨県民局が入る支庁舎で、総務企画室、県民交流室、加東財務事務所、加東健康福祉事務所、加東農林振興事務所、加東土木事務所がある。建物は昭和56年に建築されており、43年が経過している。



兵庫県社総合庁舎

2 加東バスターミナル

加東市の新たな交通結節点として、令和4年10月1日に供用開始した。路線バス・高速バスのほか、加東市乗合タクシー「伝タク」や自主運行バスが発着する。また、バスターミナル東側のパーク&ライド駐車場には、駐車スペース約100台分、駐輪スペース約60台分が設けられており、加東市の市内外への移動の拠点である。さらにターミナル東には「手打ちうどん孫心」「CINEMA COFFEE TERMINAL」「待合交流ラウンジ」が入る「にぎわい交流施設 halK (ハルク)」がある。



加東バスターミナルとにぎわい交流施設 halK

3 やしろショッピングパーク Bio

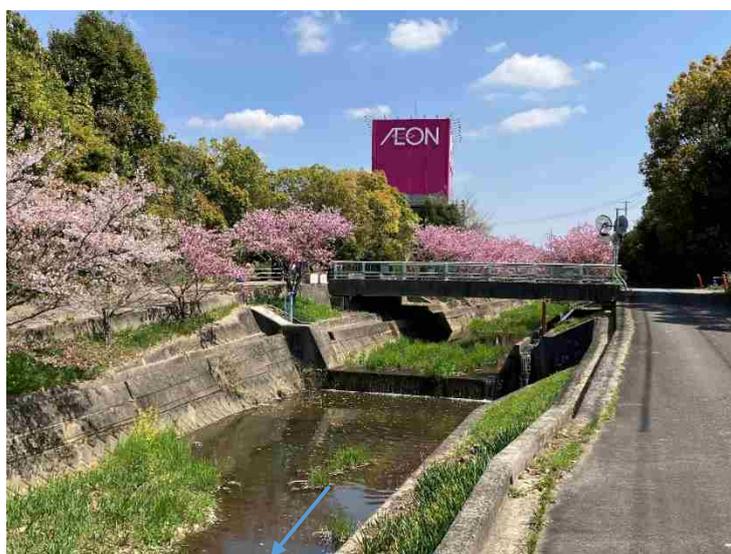
平成 8 年 5 月にオープンしたショッピングセンターである。イオン社店、専門店等の出店や事務所等が開設されている。イオン株式会社、社町ショッピングセンター協同組合、加東市、加東市商工会が株主である、やしろ商業開発株式会社が各店舗への賃貸、運営管理を行っている。



やしろショッピングパーク Bio

4 下川

下川（しもかわ）は、地元では「しもがわ」と呼ばれており、ため池である下り藤池、口ノ森池、奥ノ森池周辺を上流域に持つ、河川区域延長 3.1 km の兵庫県が管理する一級河川である。上流のため池群から社町市街地の南を西に流れる間に、皿池などからの流入や大池、新池への配水などを経て、やしろショッピングパーク Bio と加東バスターミナル間や兵庫県社総合庁舎の南を流れ、国道 175 号を西に超えてからは圃場の中を屈曲したあと、南南西に直進し、一級河川出水川に合流している。やしろショッピングパーク Bio に面する区間は堤防に八重桜が植えられており、毎年 3 月末から 4 月初めにかけて桜が美しい。河川管理用通路は加東市道でもあり、加東市が管理している。



一級河川 下川

Ⅲ 協議会開催概要

① 第1回協議会

日時：令和5年9月11日（木）

場所：やしろショッピングパーク Bio 2階多目的ホール

1 開会

(1)開会あいさつ（加東土木事務所 木村浩之所長）

(2)委員及び出席者紹介

2 社総合庁舎・加東バスターミナル周辺にぎわい創出検討協議会の設置について

3 議事

(1)協議会における協議について

(2)他地域における事例の紹介

(3)アイスブレイク

4 その他

5 閉会

（議事概要）

委員及び事務局の紹介、協議会設置要綱、謝金、旅費支給要領、公開要領の承認を得た後、座長であるやしろの森公園協会事務局長 余部衛氏の進行で、周辺地域の概要、利用者参加の意義やスケジュールの提示、周辺整備の前提条件、他地域での事例紹介を行った。その後委員同士の交流を深めるためのアイスブレイクを行った。

②第2回協議会

日時：令和5年10月13日（金）

場所：やしろショッピングパーク Bio 2階多目的ホール

1 開会

出席者紹介

2 議事

(1)第1回協議会議事要旨 等

(2)グループワーク①〔にぎわいの種まき〕

(3)グループワーク②〔地図を持って歩いてみよう〕

3 その他

4 閉会

（議事概要）

第1回協議会の振り返り後、余部座長の進行で、アイスブレイク「ペーパータワー」でウォーミングアップを行った。グループワーク〔にぎわいの種まき〕では各委員が第1回協議会の成果を含めて「にぎわいを生み出すために必要なこと」を書き出し、カテゴリー別に分類した。グループワーク〔にぎわいの種まき〕では委員が2グループに分かれて現地調査を行い、「にぎわいを阻害しているもの」「二兎が集まりにくくしているもの」を抽出し、それらを付せん書き出して地図に貼り出した。

③第3回協議会

日時：令和5年11月10日（金）

場所：加東市役所3階301・302会議室

- 1 開会
- 2 議事
 - (1)第3回協議会議事要旨 等
 - (2)オリエンテーション&アイスブレイク
 - (3)グループワーク [にぎわいの種を育てよう]
 - ・セッション①「にぎわいの種を選ぶ」
 - ・セッション②「種の本質を探る」
- 3 その他
- 4 閉会
(議事概要)

第2回協議会の振り返り後、余部座長の進行で、オリエンテーション及びコミュニケーションツール「えんたくん」を用いたアイスブレイクを行った。「ペーパータワー」でウォーミングアップを行った。グループワーク [にぎわいの種を育てよう] では第2回協議会のグループワークで整理した「にぎわいの種」の「大グループ」に優先順位を付けるワークを行った。さらに、グループワーク「種の本質を探る」では、優先順位を付けた6テーマについて、関連するキーワードを抽出した。

④第4回協議会

日時：令和5年12月21日（木）

場所：やしろショッピングパーク Bio 2階多目的ホール

- 1 開会
- 2 議事
 - (1)第3回協議会議事要旨
 - (2)高校生・グリーンアドバイザーへのヒアリング結果
 - (3)オリエンテーション&アイスブレイク
 - (4)グループワーク [にぎわいの土づくり]
 - ・セッション①「何があったらいいかな？」
 - ・セッション②「アイデアを整理しよう！」
- 3 その他
- 4 閉会
(議事概要)

第3回協議会の振り返り後、高校生、グリーンアドバイザーへのヒアリング結果を紹介した。島村委員からは、放課後デイサービス参加者からの意見紹介があった。その後、余部座長の進行で、オリエンテーション及びアイスブレイクを行った。グループワーク [にぎわいの土づくり] では、第3回協議会の「えんたくん」を見ながら「何があったらよいか」について具体的なアイデア出しを行った。グループワーク「アイデアを整理しよう！」では、「えんたくん」に書き留めたアイデアを同じグループ同士でまとめてタイトルを付けた。さらに、それらのタイトルを、X軸に「実現可能性」、Y軸に「にぎわいを生む力」としたマトリクスを使って整理した。

⑤第5回協議会

日時：令和6年2月8日（木）

場所：やしろショッピングパーク Bio 2階多目的ホール

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) オリエンテーション&アイスブレイク
(第4回協議会議事要旨他 資料説明含む)
 - (2) グループワーク [にぎわいの花を咲かせる]
 - ・セッション①「パースの確認 意見交換」
 - ・セッション②「にぎわいの水やり当番」
- 3 その他
- 4 閉会

(議事概要)

余部座長の進行で、オリエンテーション及びアイスブレイクを行った。その後、第4回協議会の振り返り、兵庫県立社高等学校の生徒からの下川の活用に関する提案の紹介、第4回協議会においてまとめたマトリクスのふりかえり、及び「ひょうごアドプト活動のすすめ」を紹介した。グループワーク [にぎわいの花を咲かせる] では、セッション①として下川の整備構想模型を見ながら、気づいたことや改善点等について自由な意見交換を行った。セッション②では、ワーク【1】として第4回協議会で整理したマトリクスの中から、ソフト的なコンテンツをピックアップして、そこからさらに類似の項目をまとめるワークを行い、ワーク【2】では、その代表項目ごとに、それらを継続的に育てていくための課題を「えんたくん」を使って整理した。

『ソフト的なコンテンツからまとめられた代表項目』

「環境維持」「動的なイベント」「自然」「装飾」「展示物」「名物」

⑥第6回協議会

日時：令和6年3月22日（金）

場所：やしろショッピングパーク Bio 2階多目的ホール

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) オリエンテーション
 - (2) アイスブレイク
 - (3) グループワーク [にぎわいの花を咲かせる]
 - ・セッション①「パースの確認 意見交換」
 - ・セッション②「にぎわいの水やり当番」
 - ・セッション③「花に名前をつけましょう」
- 3 その他
- 4 閉会

(議事概要)

.....

IV 周辺地域の現状と課題

1 にぎわいの種

第1回協議会でのアイスブレイクや、第2回協議会では、「にぎわいを生み出すために必要なこと」を委員が書き出し、カテゴリー別に分類した（2班に分かれてのワークであったが、同カテゴリーについては同じ分類に記載した）。

表-2 にぎわいの種（グループワーク〔にぎわいの種まき〕）

カテゴリー	にぎわいの種
設備	<ul style="list-style-type: none"> ・川遊び ・子供が遊べる場所 ・トレーニング器具 ・走るところ（ジョギングとかダッシュとか） ・遊具（ブランコ 川のうえに飛び出す） ・変化がある（いつも一緒だと飽きる）・魅力ある施設 ・楽しそうと思えるイベント環境 ・遊べる場所 ・遊び
運動	<ul style="list-style-type: none"> ・歩きやすい ・走れる場所
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・きれい、清潔 ・美しい場所 ・きれい、おしゃれ、楽しい ・きれいな景観 ・夏は霧ふき ・昼も夜も明るい ・くりの木、柿の木 ・自然を生かす（ホテル etc.） ・農業（野菜作り）
世代の集客	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が集まる ・三世代交流 ・若者、子育て世代を引きつける仕掛け ・子供、若者、高齢の方 ・人が来たくなるもの
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り ・花見（桜、ふじ） ・継続される目的 （毎週○曜日…、夜はそこで…） ・流しそうめん ・BBQ
人	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイヤー ・学生、若者 ・人の集まり（子供からシニアまで） ・子育て世代
国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流（外国人） ・外国の方も来やすい場 （免税店）

インフラ・交通の便	・播磨中央との公園とのピストンバス
憩い・やすらぎ	・カフェ ・スイーツ通り ・家族、子供 (コーヒーを飲む場)
食	・クレープ、アイス ・買い食い ・食べ物
物	・名物 ・特産品
感覚	・スリル ・マンネリ化しない刺激のあるもの ・新しいもの

2 にぎわいを阻害するもの

第2回協議会において、グループワーク「地図を持って歩いてみよう」において、やしろショッピングパークBio東端橋梁から、社総合庁舎東端のふれあい橋までグループ毎に歩いて、現状で「にぎわいを阻害するもの」「人が集まりにくくしているもの」を現地調査により抽出した。

表-3 にぎわいを阻害するもの（グループワーク「地図を持って歩いてみよう」）

種類	項目
景観	景観さびしい、色み、色彩がない（殺風景）全体的に雑草、草刈られてない、
下川	水の流れよどんでいる、水汚い、水草多い、水質不明、水面見えない、川に寄りつけない（下りて遊べない）、流れ（音）が感じられない、川が浅い、川が川でない、土砂堆積、
施設 (下川以外)	ベンチがない、ベンチが木に埋もれている、街灯が少ない、（照明がない）、暗い、フラワーポット意味不明、手入れがない、アスファルト荒れている（舗装が悪い）、ウォーキングがしにくい、柵がない（フェンスがなく落下危険）、道幅が狭い、日陰で休めるところが少ない、レジャーシート敷けるところがない、公園・駐車場草多い、駐車場の空きもつたいない、車と自転車、歩行者の通行区分が分かりにくい、歩道・自転車分けたい、車両が通る、車が多い、スピード速い
樹木	木が生い茂りすぎ、木がのび放題、桜の手入れができていない
その他	虫が多い（蜘蛛の巣）、ゴミが捨てられている、農業用水のメンテが出来ていない、夏暑い、ポイ捨て、すいがら多い、休める喫煙所がない、遊具がない、子どもたちが走れない、ジョギングしにくい、高欄のナマズの絵がミスマッチ（ナマズいない）、

なお、現地調査においては、委員から周辺環境や整備内容について「よいこと」や「こんなものがあつたらよいのに」についても言及があった。

（よいこと）

桜がある、魚、生物がいる、水が臭くない、ベンチに日よけの植樹がある、静かで人が少ない、日当たりがよい、水草に花が咲く

(こんなものがあつたらよいのに)

樹名板、フットサル場、バスケットゴール、ゴムチップ舗装、ダッシュのための距離表示、花見のスペース(ゴザ)、ウッドデッキ、子どもの遊び場(川に下りる、飛石、生き物ふれあい)、吊り橋、ザリガニつり場

V にぎわい創出のためのアイデア

1 にぎわいの種を選ぶ

第3回協議会ではグループワーク〔にぎわいの種を育てよう〕を行い、まず、「にぎわいの種」である1のカテゴリーに対し、各委員が思う優先順位を、赤色(3点)、青色(2点)、黄色(1点)として点数を付け、集計した結果で順位をつけた。

『優先順位結果』

1位;設備(21点)、2位;環境(17点)、3位;イベント(9点)、4位;映え(6点)、5位;世代の集客(3点)、6位;人(2点)、7位;憩いやすらぎ(1点)、8位;食(1点)

2 種の本質を探る

3で決めた優先順位の高い順に6テーマを選び、グループワークを行った。このグループワークではコミュニケーションツール「えんたくん」を使用した。テーマに関連する事柄に関して自由に発言し、内容を「えんたくん」に書き記して、キーワードの抽出を行った。



コミュニケーションツール「えんたくん」



「えんたくん」を使用したグループワーク

『各ワークから導かれたキーワード』

「設備」テーマから導かれたキーワード

・きれいにする・川の流れの変化を見に行く・動きがある・安全になる・管理が大変

「環境」テーマから導かれたキーワード

・日常生活での安心感や安全・水質問題、治水問題・平和・興味を引く
・人が集まる・経済効果・地域活性化・川だけで価値があるか、溢れそうになった
・川を中心に活用する・仕掛・メリットデメリットふん害・インフラ
・継続できるシステム

「イベント」テーマから導かれたキーワード

・目的・ターゲット・出かけるきっかけ、情報・希少性、独自性

「映え」テーマから導かれたキーワード

- ・発信・興味・自慢・市民が自分達の力で変えていったプライド
- ・田舎（原風景、懐かしさ、少年時代）
- ・現状→未来への変化（プロセス）、がんばるストーリー

「世代の集客」テーマから導かれたキーワード

- ・（お年寄りなど）お金に余裕がある人がいる・消費する・家族・伝承
- ・近所のつきあい

「人」テーマから導かれたキーワード

- ・若い世代から広がる・発信力が高い

3 にぎわいの土づくり

第4回協議会では、[にぎわいの土づくり]として、第3回で導いた「キーワード」に関して、具体的な取組のアイデアを出しセッション①（何があったらいいかな？）、セッション②（アイデアを整理しよう）を行った。また、社高校生やにぎわい交流施設（halK）利用者へのアンケート結果やグリーンアドバイザーからの意見聴取を行った。

4 にぎわい創出に係る意見聴取

意見聴取結果を下表にまとめた。

表-4 にぎわい創出に係る意見聴取まとめ

兵庫県立社高等学校生活科学科地方創生班〔生徒 4 名・教諭 1 名〕【R5. 11. 30】等
《利活用方策～どんなものが（状態で）あれば利用（活用）する？したくなる？～》 ○フォトスポットになるもの（景観）⇒知名度が上がる ○ベンチ（多めに）⇒飲食物などを持って休憩・交流できる ○イルミネーション ○桜等のライトアップ、街灯 ○道路への距離表示 ⇒徒歩、子どものかけっこ等で活用 ○子どものワークショップなどによる護岸への絵画 ○樹木をいろんな形（デザイン）にする、花木は通年で見られるほうが良い ○キレイな川⇒川遊びができる ※小中学生に意見を聴く（ワークショップ等）など、関わってもらおうと来てもらえる（親も来る） 《維持管理方策・参画意志等》 ○維持管理面などについては、総合的な学習の時間を活用するなど、参画できる可能性はある（ボランティア活動などの社会体験（参加）など） ○兵庫教育大学（ボランティアステーション）においても、ボランティア参画の可能性あり〔電話聴取り〕
にぎわい交流施設（halK）利用者〔利用者 18 名（高校生、40・50・70 代市民等）〕 【R5. 12. 4・7・8】
《利活用方策～どんなものが（状態で）あれば利用（活用）する？したくなる？～》 ○フリーWi-Fi ○ベンチ（多めに）⇒川を眺めながら飲食などができる ○イルミネーション（イベントからめる、加東ルミナリエなども） ○ライトアップ（時期関係なく）

- クリスマス時の華やかな空間
- たくさんのお花、季節の花（コスモスやひまわり等）
- 桜の木（千鳥川や佐保神社とセットで自転車で巡れるなども）、紅葉を楽しめる木
- 遊歩道や飛び石、遊具など ⇒子どもが川の中で遊べる
- 魚（メダカ、カブトエビ等の小さい生き物なども）が生息する ⇒子どもが川の中で遊べる
- 子どもが自由研究できる
- 中州
- 川の中に渡れる橋（沈下橋のような）
- 安全に川に下りれる階段
- 車が走らない道路
- 雑草等をなくし、見栄えを良くする（防草シートを敷くなども）
- 危なくないようにする（安全対策）

ガーデニング アズ（グリーンアドバイザー・カラーコーディネーター）【R5.12.4】

《利活用方策～どんなものが（状態で）あれば利用（活用）される川になる？～》
 《維持管理方策・参画意志等》

1 現実プラン

（川に目が向かないように川沿いの道に白蝶草を植える）

- 土が流れないように土止めをして花壇枠を作る（アンティーク風レンガ仕様）
- 樹木の剪定は景観を乱さないよう定期的に行う
- 樹木の足元を剪定
- ピンクロードで増えた白蝶草を移植
- 近隣にお住まいの方にボランティアを募集
- グリーンアドバイザーが現場で植物の手入れの実習会を定期的開催

2 夢プラン

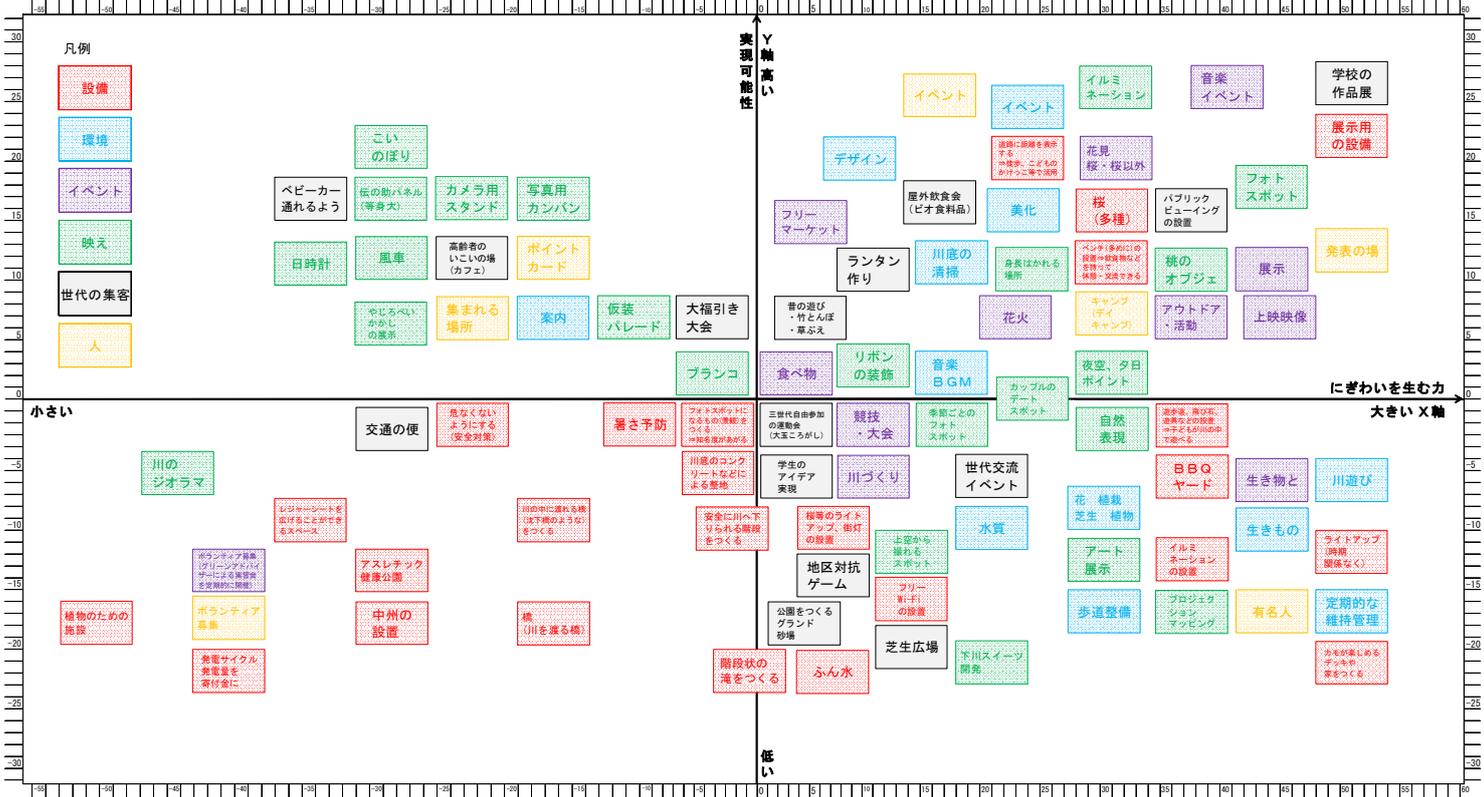
（カモが遊ぶ水辺と蛍のように光る川）

- 川底の掃除
- 川底をコンクリートなどで整地
- 全体に広がっている茂みを整理して一部の丸い茂みに
- 水の流れが見える川に
- 階段状の滝を作る
- カモや鯉、亀などの生き物が見れる川に
- かもが休めるデッキや家がある
- よるも楽しめるようにイルミネーションを川の中に設置

5 具体的な取組と取組の整理

セッション①（何があったらいいかな？）で第3回協議会の「えんたくん」を見ながら具体的な取組のアイデアを抽出した。その後、そのアイデアを同類の仲間同士で整理してまとめ、タイトルを付けた。さらにセッション②では（アイデアを整理しよう！）として、まとめたタイトルをX軸を「実現可能性」、Y軸を「にぎわいを生む力」としたマトリクスを使って整理した。アイデアのタイトルは94項目となった。

図-1 マトリクス（にぎわいを生む力と実現可能性）



VI にぎわいの花を咲かせる

1 下川の整備構想模型に係る意見交換 意見交換内容を以下にまとめた。

模型(案)の意見交換まとめ

歩道の上にもアーチがあっても良いのでは！

イオン側をにぎわいとする ⇒good!

川の中にプールは作れますか？水質課題か？

雨対策は？雨の日も楽しめるスポットになればいいのでは

自転車乗り入れ駐輪場？

ベンチに広告貼れるなら手入れします

柵にもたれて川をながめられるスペースがあるといいな

雨よけ日よけが欲しい

今ある橋の下はどうなるのか？

道路と同じ高さで植物の手入れ出来るのいい

川の流れ 良い

ベンチ 良い

防災上、川の中を人工的にどの程度変更できるかが問題

川が直線なので、流れが曲線にしてあるのは良い

持続可能性の観点からすると河川周辺はシンプルな環境を維持することも重要

川の上にぶら下げるの good!

Bioのカベに何か写せる様にすればもっと良い

川がくねっている見ばえ、植物動物すみやすい

緑の量をおさえて明るくするのいい

おしゃれなカベがあったらいい

ゲート良い 使い方のアイデアを楽しめる

イオンの建物からのスポットライトやイルミネーション

かざり(活用)は企業の競争で

駐車場側の低木化はすぐにも実施してほしい good

ポール映えスポットが演出しやすい

ランニング、ウォーキング 00m, km など表示があればいいなあ

ポールにつけるもののワークショップしたい

建物側の柵垂直化はとても良い

建物壁面の装飾は？

橋でなくても飛び石みたいなものもおもしろい

季節の花をもっと増やしたい

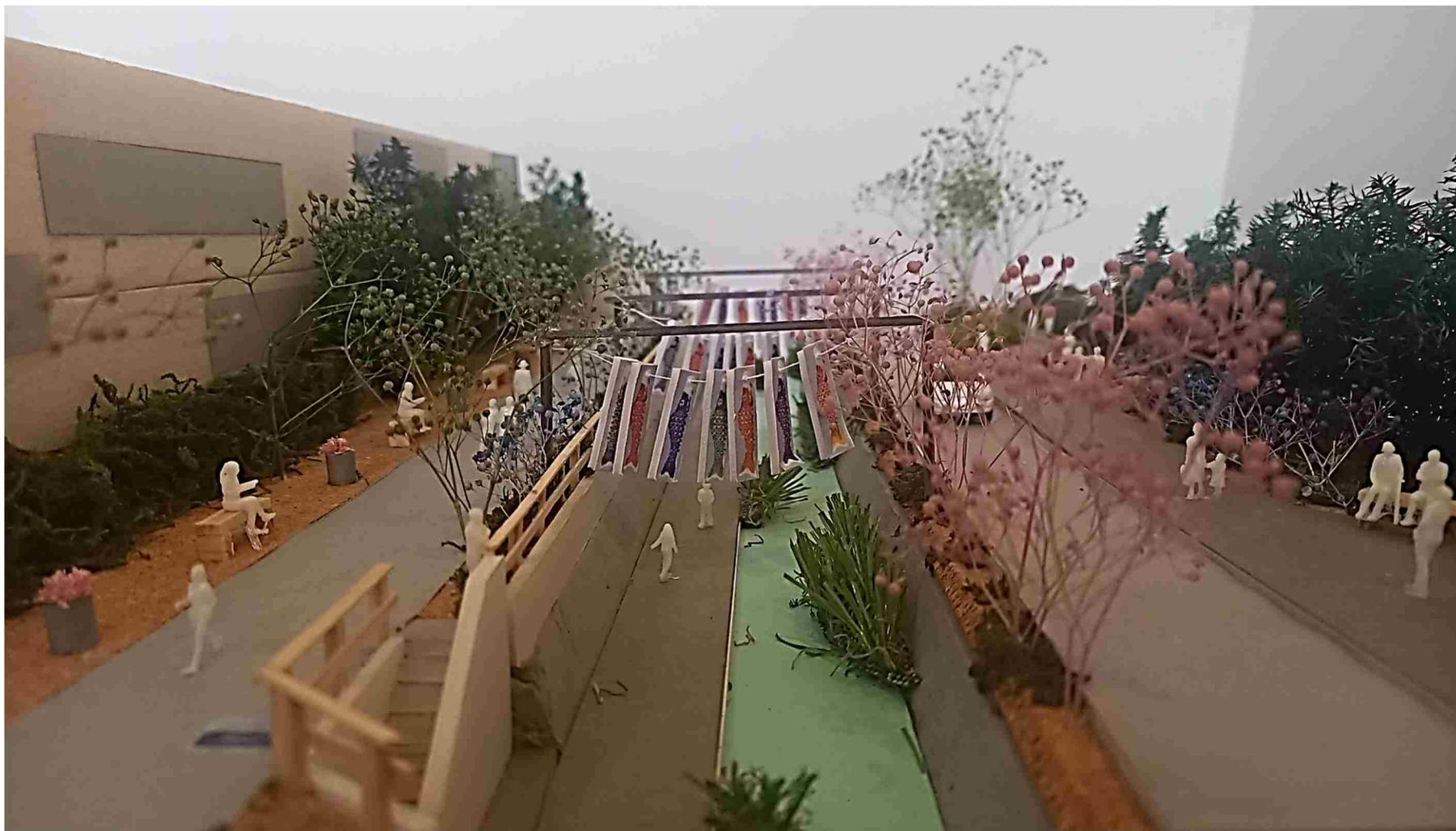
イルミネーションは実際にやってみたい

2 にぎわいの水やり当番

VII 社総合庁舎・加東バスターミナル周辺にぎわい創出構想模型

1 コンセプト

2 模型画像



※この整備（利活用）イメージは、社総合庁舎・加東バスターミナル周辺にぎわい創出検討協議会の意見を基に作成したものであり、必要費用や、技術的及び専門的な見地からの実現可能性を考慮していないものです。整備内容は、これらの見地における検討を行った上で、決定していくこととなります。

Ⅷ 取り組みを実施する時期

項目	内容	R5	R6	R7	R8	R9～
整備 (区間①)	工事詳細設計、河川改修 (周辺設備等整備) 工事、 周辺景観(演出)物設置		※			
整備 (区間①以外)	先行区間(区間①)の利 活用状況等を踏まえた整 備検討					→
利活用 (整備後)	親水(憩い・交流)空間、 イベント、展示等				→	
維持管理	植栽管理、清掃・美化、施 設・設備管理等	→				

※整備工事(区間①)の内容がある程度固まった段階で、社総合庁舎・加東バスターミナル周辺にぎわい創出検討協議会委員へフィードバック(報告)を行います。

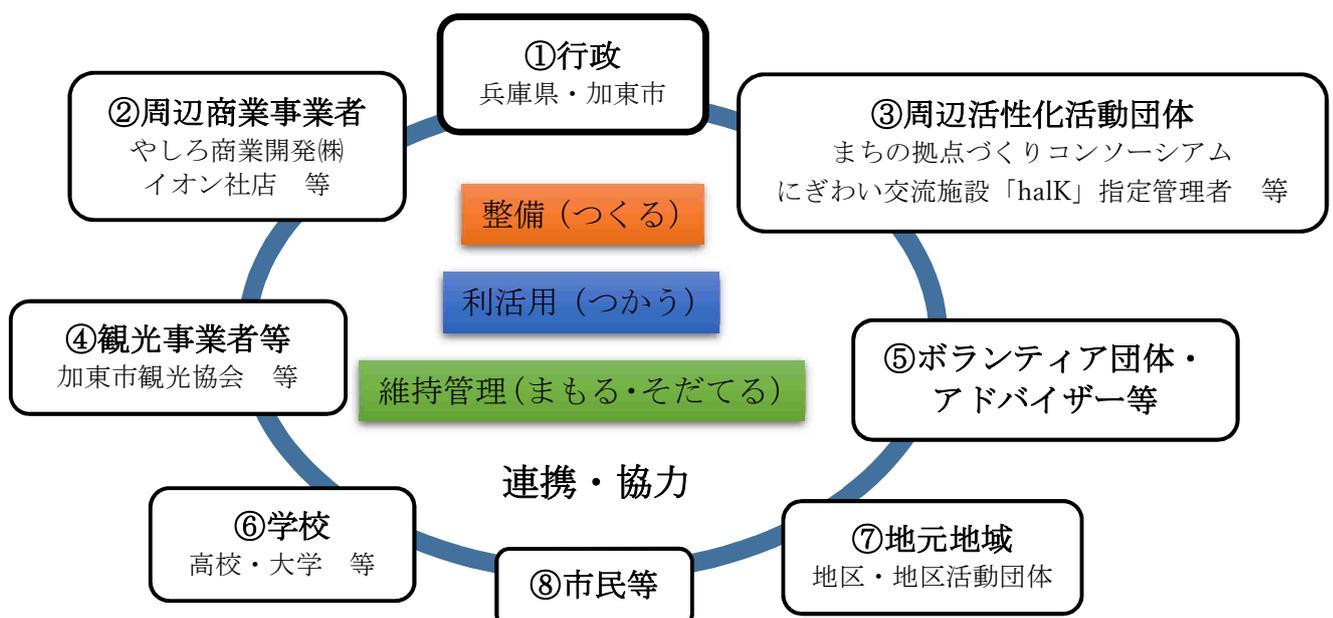
※河川改修工事は、上記期間のうち、非出水期(11月から5月まで)に行うことになります。

Ⅸ 取り組みを未来に残すために

多くの市民や市外からの来訪者、各種団体等に永続的に利活用していただくには、整備はもとより、利活用の促進と維持管理を一体的に推進していくことが重要です。そのためには、行政(兵庫県・加東市)だけでなく、周辺商業事業者や関係団体、地域、学校などと協働関係を構築し、それぞれが主体的又は補助的に活動を行ってもらえるような仕組み(協働による川・空間)づくりが必要となります。

まずは、スモールスタートでの体制を検討し、取組を進めていく中において、連携・取組範囲の拡大を目指します。

【協働による川・空間づくり体制イメージ】



※検討・協議の段階において、連携・協力体制の構築の可能性のある事業者、団体等を示したものであり、今後利活用等を進めていく中で、新たなステークホルダーの発掘を目指します。

★**下川周辺にぎわい創出連絡会（仮称）**

…主体的に取組を進める（ようとする）上記事業者、団体等で、必要に応じて、取組内容全般（整備・利活用・維持管理）についての共有、意見交換等を行う組織の設置を検討します。

★**下川周辺利活用検討会**

（＝まちの拠点づくりコンソーシアム会議）

…加東市、やしろ商業開発㈱、イオン社店、加東市観光協会、加東市商工会、にぎわい交流施設「halK」指定管理者で構成する「まちの拠点づくりコンソーシアム」において、まちの拠点の活性化に向けた取組の一環として、下川周辺の利活用方策（各種団体等参画調整を含む。）について検討します。

★**維持管理調整等**

…行政が、施設管理者として行う維持管理及びアドプト制度（兵庫県・加東市が管理する河川・道路等で、清掃・美化・植栽等のボランティア活動を行う際に、その活動に必要な用具の提供等を行い支援する制度）の運用等を通じて、調整等を行います。



【役割分担イメージ】

区分	主な内容	①行政	②周辺商業事業者	③周辺活性化活動団体	④観光事業者等	⑤ボランティア団体・アドバイザー等	⑥学校	⑦地元地域	⑧市民等	その他（企業、来訪者等）
整備（つくる）	河川改修									
	道路整備									
	周辺設備等整備									
	周辺景観（演出）物設置 ※観光資源としての観点を含む。									
	利活用ルールづくり									
利活用（つかう）	★下川周辺にぎわい創出連絡会（仮称）運営									
	イベントの企画・運営 ※維持管理要素を含む。									
	企画展示（作品、アート、風物詩等）									
	日常空間演出（BGM、装飾等）									
	情報発信									
	イベント活動団体等への支援									
維持管理（まもる・そだてる）	★下川周辺利活用検討会（まちの拠点づくりコンソーシアム会議）運営									
	植栽（花等）管理									
	樹木（並木）管理									
	清掃・美化（除草、落ち葉かき、ごみ拾い等）									
	ボランティアの募集・調整・支援									
	自然保護活動									
	河川・道路・周辺施設・設備管理									
河川安全管理										
★維持管理調整等										

【取組推進に向けた行政支援（検討・課題事項）】

- 道路（河川）占有許可手続（道路使用許可）の簡素・特例化及び占有料の減免
- アドプト制度の充実
- まちづくり活動補助金（北播磨地域づくり活動応援事業）制度の充実